

令和4年度 全国研修会プログラム

会 期	令和4年7月23日(土)
開催形式	Web開催
申込期間	令和4年5月30日(月)～7月1日(金)
参加費	日本診療情報管理士会 正会員・賛助会員 2,000円 通信教育受講中・指定校在学中の方 2,000円 非会員 5,000円
振込期限	令和4年7月8日(金) ※お申し込み後、参加費納入をもって参加確定となります。期日までに入金確認がとれない場合はキャンセル扱いとなります。
録画配信	令和4年7月29日(金)～8月29日(月) 正午まで ※日本診療情報管理士会会員のみを対象とした録画配信です。視聴には参加申込みおよび参加費の納入が必要です。

テーマ 「診療情報管理の「これまで」と「これから」、変革への挑戦」

◆プログラム

時 間	内 容
	総合司会 桜澤 邦男(東北大学 日本診療情報管理士会教育委員) 高橋 文(北海道情報大学 日本診療情報管理士会教育委員)
13:00～13:10	開会挨拶 阿南 誠(日本診療情報管理士会 会長) 来賓挨拶 末永 裕之(日本診療情報管理学会 理事長)
13:10～14:15	講演Ⅰ「今だからこそ聞きたい、 病院長からみた診療情報管理士への役割と期待」 講 師/小阪 真二(島根県立中央病院 病院長) 座 長/海野 博資(岡山旭東病院 診療情報管理室 室長 日本診療情報管理士会教育委員) ※①診療情報管理士をどのように育成しているか、②診療情報管理士にどのような目標設定をしているか、③診療情報管理士にどのようなことを期待するか等について、現職の病院長の話をお聴きください。
14:15～15:20	講演Ⅱ「診療情報管理士の“これまで”と“これから”」 講 師/阿南 誠(川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療情報学科 学科長・特任教授) 座 長/塩塚 康子(福岡県済生会八幡総合病院 医事課 課長 日本診療情報管理士会教育委員) ※これまでの40年間、そしてこれからの話を。技術的にそろばんがコンピュータ、そして人工知能等の新しい分野に向かい、一方で概念として、情報の有用性や新しい分野での活用が期待される今、診療情報管理士の近未来を考えたい。
15:20～15:30	休 憩

<p>15 : 30～17 : 30</p>	<p>シンポジウム I 「適切な診療記録のための診療情報管理士の活動 ～多職種連携の架け橋になる～」</p> <p>座 長／須貝 和則（国立国際医療研究センター 医事管理課 課長）</p> <p>シンポジスト／</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフォームド・コンセント記録の改善～医師、看護師への働きかけ～ 金森ひろ子（大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 診療情報管理室 副参事） 2. 退院サマリー記載に関するアシスト～院内多職種への働きかけ～ 押見香代子（聖路加国際病院 医療情報課） 3. 死亡診断書の精度向上に向けて～院内への働きかけ～ 丸山こずえ（国立病院機構都城医療センター 医療情報管理部 副部長） 4. インシデントレポート活用によるデータの可視化～医療安全部への働きかけ～ 堤 ともゑ（藤田医科大学岡崎医療センター 安全管理部） 5. 画像診断報告書の確認漏れについて～医療安全部門への働きかけ～ 飛田 正敏（島根県立中央病院 情報システム管理室長補佐 整形外科部長） <p>※診療情報管理の業務を行う上で、診療部門との協力は欠かせない。これからの多職種への効果的な働きかけについて、具体例を紹介し考察する。</p>
	<p>シンポジウム II 「医療情報システムの安全管理 ～診療情報を扱うシステムのリスクを考える～」</p> <p>座 長／荒井 康夫（北里大学病院 医療支援部 診療情報管理室 特別専門職）</p> <p>シンポジスト／</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療情報管理の立場から 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した体制をつくる 島田 裕子（国立病院機構大阪南医療センター事務部企画課 診療情報管理専門職 日本診療情報管理士会教育委員） 2. システム管理の立場から 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」を紐解き、実装するには 下川 忠弘（公益社団法人京都保健会 IT 企画推進部 部長 京都民医連中央病院 医療情報部 部長） 3. 病院管理の立場から 病院運営におけるリスク管理と職員の意識改革に向けた取り組み 長浜 宗敏（沖縄県立中部病院 経営課 課長） 4. 診療の立場から 「デジタル全情報喪失」時、何の情報があれば最低限診療できるか 山野辺裕二（福岡輝栄会病院 医療情報部長 形成外科部長） <p>※国内においても医療情報システムへの外部からのリスクが顕在化し、どのようなリスクがあるか「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等も用いながら紹介する。</p>
<p>17 : 30～</p>	<p>閉会挨拶 柏倉 夏枝（日本診療情報管理士会 教育担当副会長）</p>